

活用にあたって

① 安全教育で身に付けさせたい資質・能力と安全教育の進め方 p4～

共通理解

児童生徒が自らの命を守るために必要な資質・能力の発達段階ごとの体系表 p19～

学校安全の3領域
災害安全
交通安全
生活安全

全ての児童生徒等に身に付けさせたい基本的指導内容 p27～

全教職員で、育成を目指す児童生徒の安全に関する資質・能力を、共通理解しましょう。

発達段階ごとに体系的に整理

② 「安全教育全体計画」「学校安全計画」の策定・共有 p9～

計画

安全教育全体計画 p31～ 何ができるようになるか どのように育成するか

各学校の安全上の課題や児童生徒の実態に応じて、育成を目指す児童生徒の資質・能力を明確にし、目標を設定、安全教育の基本的な方策等を整理しましょう。

年間計画として系統的・体系的に整理

学校安全計画 p37～

教職員一人一人が、自身の担当する学年・教科の内容のみならず、担当学年の他の教科等の安全に関する内容を把握し、自分の担当学年・教科の指導を見直し、効果的な実践にしていきたいと思います。

③ 教科等横断的な視点を踏まえた安全教育の実施 p9～

実践

災害安全（震災）※小学校・中学校・高等学校ごと

災害安全（気象災害・その他の災害）※小中高を通じて

交通安全 ※小中高を通じて

生活安全（外傷予防・犯罪被害防止）※小中高を通じて

指導計画モデル p45～

目標を明確化した教科等横断的な安全教育の充実のために、学年・教科間のつながりを意識した指導をしていきましょう。

※学校安全対策課ホームページに、指導資料や教材、実践例等も紹介しています

④ 安全教育の評価と指導の改善 p17～

評価改善

児童生徒の意識の変容などの教育課程の実施状況に関する各種データの把握・分析を通じて安全教育に関する取組状況を把握・検証しましょう。

評価によって得られた情報を活かして次年度の計画を見直すなど、今後の安全教育の改善を図りましょう。

次年度へ